

平成30年度第2回防災・減災害講座アンケート結果

1. 今回の講座、「とても参考になった」16名（ふつう1名、無回答3名）
2. 今回の講座で印象に残ったこと。
 - ◇ マスメディアの報道は大上段に構えたものが多いので、ローカライズして頂いた学習でとても遣り甲斐がありました。
 - ◇ マップ作成と映像・動画の組み合わせの説明が分りやすかった。脳が活性化した。
 - ◇ 改めて避難経路を考えるきっかけができた。自分の家の周囲の状況がわかりました。近所を散策して独自のマップを作成したい。
 - ◇ 水不要トイレの話聞いて、母が使っていたポータブルトイレが非常時に使えることを思い出した。
 - ◇ 思い込みや、知らないことが大変怖いことであることが分かりました。
3. 防災・減災の講演会で取り上げて欲しい内容（複数回答）

首都圏直下地震(3)、熊本地震(0)、東日本大震災(0)、地震全般(1)、浸水（洪水・内水）について(1)、土砂災害について(2)、液状化現象について(4)、火災について(3)、災害避難所について(1)、トイレ関係について(8)、帰宅困難者対策について(5)、災害要援護者対策について(6)、家具転倒防止について(4)、各種ゲームについて(2)、ボランティアについて(4)、その他（富士山の噴火）
4. 防災・減災についての御意見（自由に記入）
 - ◇ 共助を深め強めたいです。防災減災講習、国民市民の義務にしてほしいです。
 - ◇ 何が起きるか、どうすればいいのか、想像力を働かせて自分で考える、先入観・思い込みをなくす。知って考える、教える。絶えず、防災を喚起していきたい。
 - ◇ 高齢者や外人にどう伝えるかが難しいと感じました。

（アンケート結果総括）

役立つ情報は自分自身の課題解決の大事な情報源であると認識されて初めて真価を発揮する。今回のアンケートでは多くの参加者が、ハザード情報等を参照しながら自ら防災マップ作成することが、防災を自分の課題として捉え具体的な対策を打っていく手段になるとして高く評価している。従来の講義型の講演ではなかった反応である。

以上